

R6年度 東海村BPR実行計画に係る 最終報告

**東海村 地域戦略課
DX・働き方改革担当
2025.03.26**

1. R6年度BPR実行計画の概要
2. 実績報告
3. 職員の意識変化と施策の有効性
4. 最終報告まとめ
5. R7年度のBPR取り組み

1. R6年度BPR実行計画の概要

(1) 目標

- 令和6年度は「業務時間の削減」と「業務改善意識（BPR取組数）の向上」の2つを目標に掲げました。

【目標1】業務時間の削減・・・「7,436時間」

【目標2】業務改善意識の向上・・・「BPR取組数 80業務」

目標達成に向けては、地域戦略課は従来どおりの各課主体で進めるBPRの実行支援に加えて、各課主体で進めるBPRを推進するための施策（BPRを進める上で必要となる知識習得の場や気軽にBPRの手法を相談できる場の設置等）を昨年度よりも強化し、**BPRに取り組む職員の裾野を拡げる取組み**を進めてきました。

【業務時間の削減】

項目		将来目標値			
		2023年（R5）	2024年（R6）	...	2040年（R22）
労働時間削減目標	（目標）労働時間	932,316時間	930,448時間 （R4比▲14,873）		880,338時間 ※2021年比 ▲5.8%
	（目標）BPRによる削減時間	▲7,437時間/年 （0.8%）	▲7,436時間/年 （0.8%）		

【業務改善意識の向上】

項目	R5年度実績※	R6年度目標
BPR取組数	70業務	80業務
うち地域戦略課支援数	22業務	24業務

※R5年度実績には、LGWANメール転送関連の29業務は除いています。

1. R6年度BPR実行計画の概要

(2) 今年度の取組み

担当課

地域戦略課

4～6月末
実行計画の検討・入力

4月
DX責任者
DX推進員説明会

6月
BPR
相談会

DX責任者・DX推進
者を対象にBPRの目
的や取組みを説明

日立システムズ、
地戦課で改善案
を検討 計9件

5月～
各課BPR実行支援

各課で実行するBPRのうち、RPAなど専門
スキルが必要なものについては、地域戦略課
に所属するDX専門員が支援

5～3月末
なんでも相談室

現場の職員が気軽に相談できる窓口を設置し、
日々の業務改善を支援

6月～2月末
ITツール体験会

ITツールを実際に使いながら学んでいく
体験会を定期的に開催し、各課のBPR実
行を支援

5月
BPR研修会

BPRに必要な視点
等が学べる勉強会開
催 計5回開催

7月

実行計画
策定

～3月
計画実行・振り返り・改善

11月
BPR
相談会

進捗レポート

日立システムズ、
地戦課で改善案
を検討 計2件

各課でメンテナンスする業務別一覧から月次の進捗を
毎月レポートとしてまとめ、共有

12月～
Kintoneアプリ
作成支援

計11課 30業務支援

改善アプリ作成において、
DX専門員が支援
計5件支援

週1回ペースで実施計 44回開催

kintone体験会、AI議事録体験会、AI-OCR体験会、
電子申請体験会、Excel便利機能体験会

計30回開催

10月
BPR研修会

BPRに必要な視点等が学べる勉強会開催
計4回 開催

3月末

最終実績報告

BPR
実行支援

BPR
推進施策

1. R6年度BPR実行計画の概要

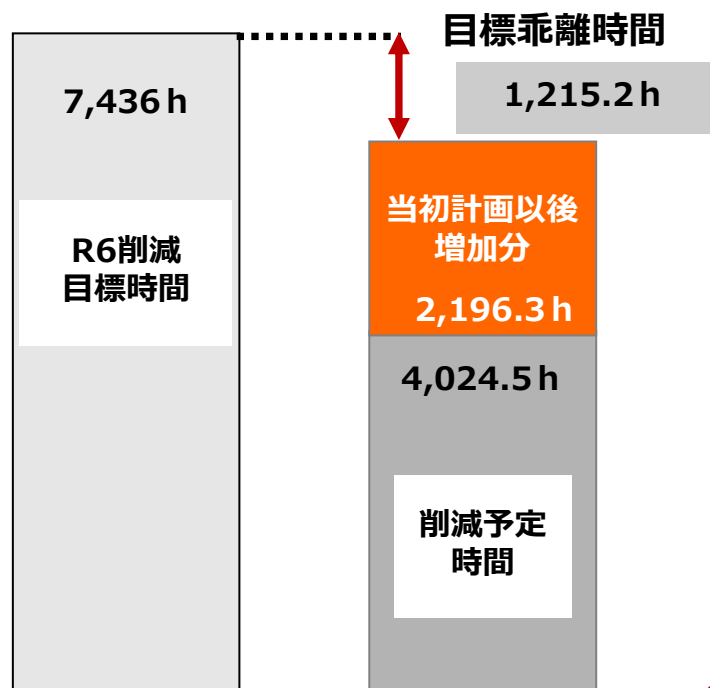
(3) 実行計画値

- 令和6年度のBPR実行計画値（削減予定時間・BPR取組数）です。
 - ・ 当初計画よりもBPR取組数は20件増加し、削減予定時間は2196.3時間増加しています。削減予定時間は目標に達しなかったものの、昨年度の計画値を上回りました。
 - ・ BPR取組予定数は7月の計画策定時から22件積み上げ、当初目標を達成しました。

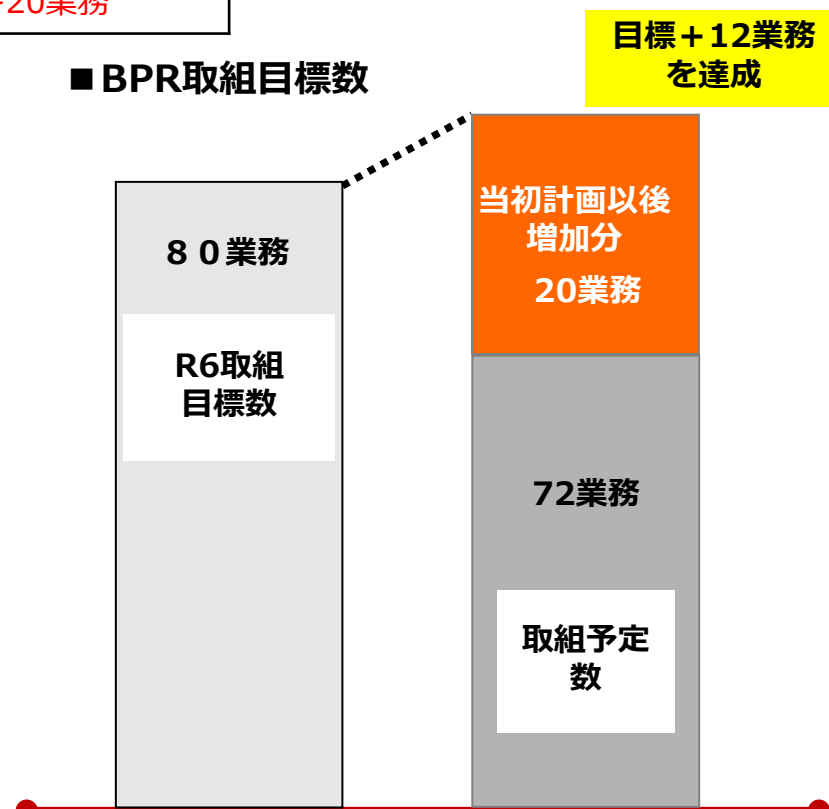
■ BPR実行計画

	計画時	3月末	計画時差異
削減予定時間	4024.5時間	6220.8時間	+2196.3時間
BPR取組数	72業務	92業務	+20業務

■ 削減目標時間



■ BPR取組目標数



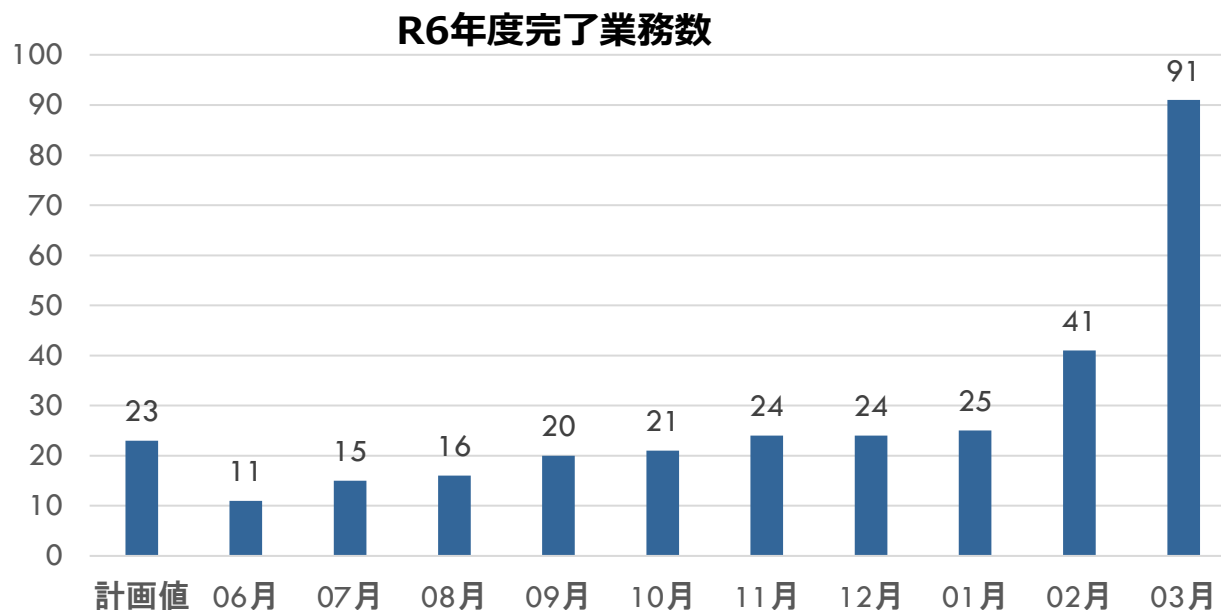
2. 実績報告

(1) BPRの実行実績

- 3月末までのBPR実行によって削減した業務量と改善完了数の実績です。
 - ・今年度業務改善によって削減された時間は6,295.7時間、完了した業務数は91件でした。

■ R6年度BPR進捗状況

	R6年度計画	完了による削減効果		備考
		9月末	3月末	
改善時間	6220.8時間	528.8時間	6295.7時間	+74.9時間
改善完了業務数	92件	20件	91件	99%(-1件)



2. 実績報告

(2) 部署ごとのBPR計画・実行実績（業務削減時間）

- 部署ごとのBPR実行計画と実行実績です。
 - ・ 計画時に対しての実績は部署ごとに様々ですが、計画値を多く超える実績を出した部署もあり、全体では計画値に対して99%の業務量削減に成功しています。

■ 部署ごとの実績①

課別削減時間

課名	年度計画	実績	
	削減予定時間	削減時間	進捗(%)
政策推進課	83.8時間/年	83.8時間/年	100%
地域戦略課	8.5時間/年	8.5時間/年	100%
総務人事課	62.7時間/年	111.8時間/年	178%
財政経営課	16.0時間/年	46.7時間/年	292%
税務課	1,482.0時間/年	900.7時間/年	61%
村民活動支援課	22.3時間/年	1.6時間/年	7%
環境政策課	58.9時間/年	60.8時間/年	103%
防災原子力安全課	39.6時間/年	39.6時間/年	100%
住民課	496.8時間/年	996.4時間/年	200%
地域福祉課	302.7時間/年	688.1時間/年	227%
保険課	2,075.7時間/年	2,036.3時間/年	98%
総合相談支援課	224.6時間/年	261.8時間/年	116%
健康増進課	183.9時間/年	219.5時間/年	119%
子育て支援課	0.0時間/年	0.0時間/年	-
産業政策課	154.3時間/年	76.0時間/年	49%

課名	年度計画	実績	
	削減予定時間	削減時間	進捗(%)
農業政策課	0.0時間/年	0.0時間/年	-
都市政策課	5.0時間/年	5.0時間/年	100%
道路整備課	20.8時間/年	14.7時間/年	70%
区画整理課	60.0時間/年	60.0時間/年	100%
下水道課	125.0時間/年	158.3時間/年	126%
会計課	74.7時間/年	73.4時間/年	98%
水道課	18.0時間/年	53.6時間/年	297%
学校教育課	63.3時間/年	21.0時間/年	33%
生涯学習課	132.5時間/年	170.2時間/年	128%
図書館	0.0時間/年	0.0時間/年	-
指導室	202.5時間/年	202.5時間/年	100%
議会事務局	4.2時間/年	4.2時間/年	100%
監査委員事務局	3.0時間/年	1.5時間/年	50%
農業委員会事務局	300.0時間/年	0.0時間/年	0%
合計	6,220.8時間/年	6,295.7時間/年	99%

2. 実績報告

(2) 部署ごとのBPR計画・実行実績 (BPR取組数)

- 部署ごとのBPR実行計画と実行実績です。
 - ・ どの部署もおおむね計画していたBPRに積極的に取り組んでいることがわかります。

■ 部署ごとの実績②

課別完了業務数

課名	年度計画	実績	
	取組 予定数	完了数	進捗 (%)
政策推進課	11	11	100%
地域戦略課	2	2	100%
総務人事課	8	8	100%
財政経営課	1	1	100%
税務課	1	1	100%
村民活動支援課	1	1	100%
環境政策課	3	3	100%
防災原子力安全課	2	2	100%
住民課	8	8	100%
地域福祉課	4	4	100%
保険課	9	9	100%
総合相談支援課	6	6	100%
健康増進課	14	14	100%
子育て支援課	0	0	-
産業政策課	1	1	100%

課名	年度計画	実績	
	取組 予定数	完了数	進捗 (%)
農業政策課	0	0	-
都市政策課	1	1	100%
道路整備課	1	1	100%
区画整理課	1	1	100%
下水道課	1	1	100%
会計課	1	1	100%
水道課	1	1	100%
学校教育課	1	1	100%
生涯学習課	10	9	90%
図書館	0	0	-
指導室	1	1	100%
議会事務局	1	1	100%
監査委員事務局	1	1	100%
農業委員会事務局	1	1	100%
合計	92	91	99%

2. 実績報告

(3) BPR実行支援実績

■ DX専門員による各課のBPR実行支援の実績

- ・ DX専門員によるBPR実行支援によって、31業務、2574.0時間の業務時間削減をしました。
- ・ DX専門員が支援でBPRに関与した割合は業務数、削減時間ともに昨年度に比べて低下しており、この結果から、昨年度よりも各職場主体的なBPRの取組み（BPRの自走化）が進んでいることがわかります。

■ 全体のBPR実行結果

BPR完了業務：91業務

削減時間合計：6295.7時間/年



■ うちDX専門員によるBPR実行支援実績

支援実施業務：31業務（11課）

削減時間合計：2574.0時間/年

▶ DX専門員による支援実績と関与率

	支援実施業務	削減時間
R6年度 実績	31業務	2574.0時間
関与率	34% (31業務/91業務)	40% (2574.0時間/6295.7時間)
昨年度 実績	51業務	2229.3時間
関与率	51% (51業務/99業務)	41% (2229.3時間/5330.6時間)

2. 実績報告

(3) BPR推進施策① (BPR実行支援実績)

■ DX専門員による支援後の業務時間の圧縮

- ・ 支援実施後、**対象業務の業務時間は支援前から約30%削減**させることができました。
全庁単位での業務時間の削減率は23%であり、DX専門員による削減率の数値が大きい理由としては、DX専門員がITツール（VBAマクロ、RPA等）を駆使して業務の最適化を進めているためであると推測できます。
- ・ このため、BPRによる業務最適化において専門知識を持つDX専門員は欠かすことのできない存在であることがわかります。

▶ DX専門員によるBPR実行支援実績

支援実施業務：31業務（11課）

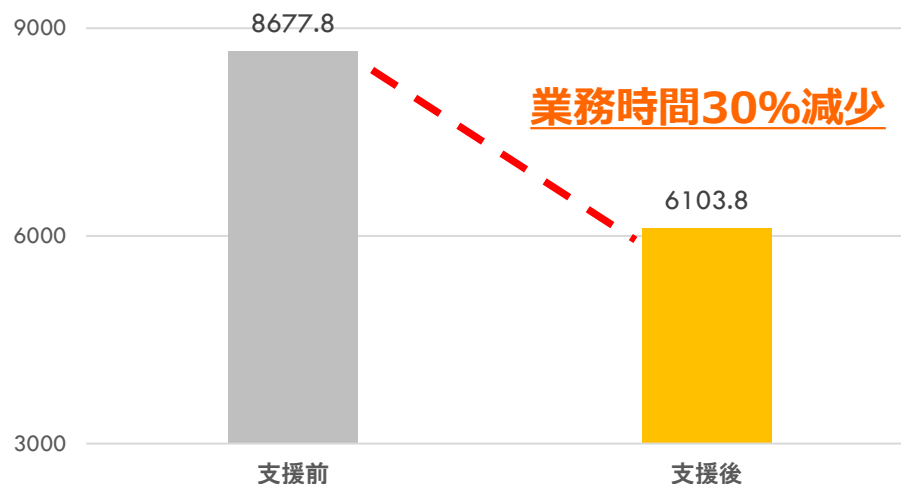
削減時間合計：2574.0時間/年

【支援対象の業務時間】

支援実施前：8677.8時間/年

支援実施後：6103.8時間/

【実行支援による業務時間の削減効果】



2. 実績報告

(3) BPR推進施策②（スキルアップ・相談支援実績）

■スキルアップ・相談支援の実績

- ・ **BPR勉強会**，**ITツール体験**には，延べ**137人**の職員が参加しました。
- ・ なんでも相談室等，BPR実行の**相談窓口**での案件数は合計**203件**となっており，高い利用実績であることがわかります。この結果は，職員が各職場でBPRを実行する上で大きなサポートになっていることがわかります。

▶スキルアップ支援 参加実績

開催区分	参加人数
BPR勉強会（上期）	48 人
BPR勉強会（下期）	32 人
kintone体験会_基本編	15 人
AI議事録体験会_基本編	15 人
AI-OCR体験会_基本編	12 人
AI-OCR体験会_加工編	2 人
Excel便利機能体験会	8 人
電子申請体験会_基本編	5 人
合 計	137 人

▶相談支援 対応実績

相談区分	案件数
なんでも相談室	132 件
飛び込み相談	51 件
地域戦略課からの提案	6 件
Kintoneアプリ作成支援	14 件
合 計	203 件

DX専門員によるなんでも相談室

飛び込み来店＋席予約 はじめました！
30分単位の予約枠を設けています。※必要時ご予約をお願いします。
【ご予約はコチラから📍】
Y:Y03調査Y調査20250331 地域戦略課 なんでも相談室

居酒屋ていすけ

メニューは煮し、マスターが大概のことなら解決してくれます。

【3月の営業日】
6日(木)
13日(木)
21日(金)
27日(木)

営業時間：15～17時
営業場所：3階ハートオフィス

お好きな店にご相談ください。お待ちしております。

限定メニュー
ご希望があれば、お返し（Excel等の便利機能）を出させていただきます。お返しだけ聞きに来ていただいてもOKです。

小料理屋といた

居酒屋ていすけで修業しました。知識や技術はまだまだマスターに及びませんが、1つ1つ丁寧にお答えします。

【問合せ先】
地域戦略課 DX専門員
野村、戸井田（内線：3017、3016）

2. 実績報告

(4) 業務量削減実績

■ 業務量削減と職員の労働時間

- ・ 令和6年度は昨年度実績を超え、**6,295.7時間の業務量削減**に成功しました。
- ・ BPRがスタートした令和2年度からこれまでに、改善した業務数は230業務、削減してきた業務時間は16,641時間となります。
- ・ 実際に、職員（会計年度任用職員を除く）**一人当たりの実質労働時間**（総労働時間-休暇等取得時間）を比較した結果、実質労働時間は**年々減少**していることがわかり、BPRによる業務量削減が職員の働き方にも良い影響を与えていると考えられます。

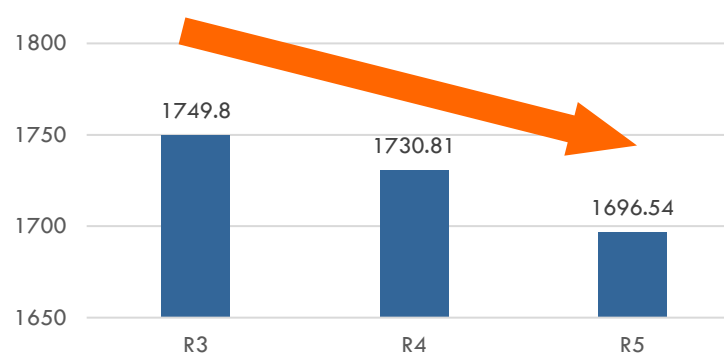
▶ 令和6年度BPR業務量削減実績

	目標値	計画値	実績値
削減時間	7,436時間	6,220.8時間	6,295.7時間

▶ これまでのBPR実行実績

年度	削減時間（時間/年）
R2	439 時間
R3	607 時間
R4	3,968.7 時間
R5	5,330.6 時間
R6	6,295.7 時間
合計	16,641.0 時間

▶ 一人当たりの実質労働時間（時間/年）



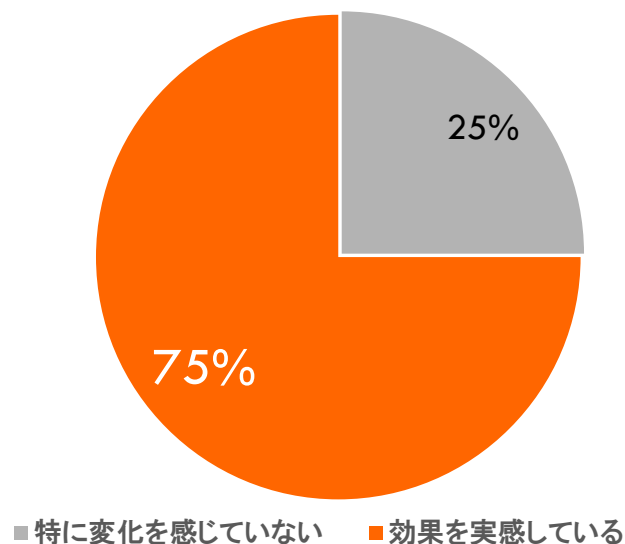
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

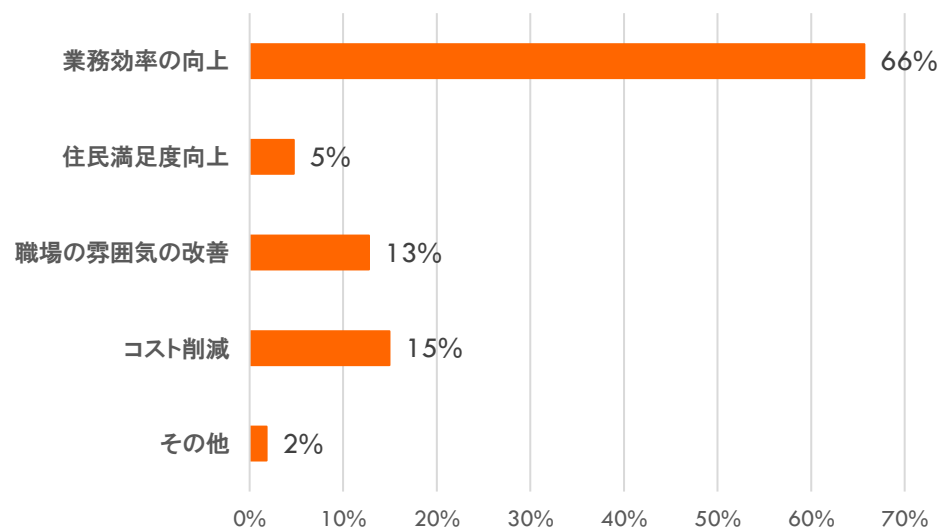
■ BPRで実感する効果

- ・ 職員全体の75%がBPRの効果を実感していることが職員アンケートの結果からわかりました。
- ・ 実感する効果のうち「業務効率の向上」との回答が最も多く、前述した職員の実質労働時間の傾向と同様に、職員の実感としてもBPRによって業務の効率化が進んでいると感じていることがわかります。

▶ BPR推進による効果実感の有無



▶ 実感する効果の内訳



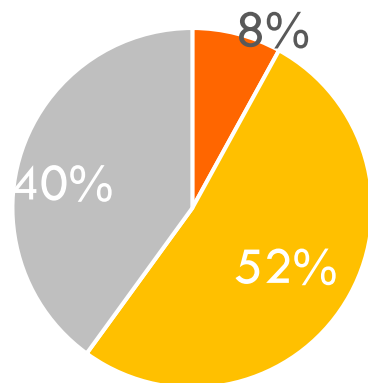
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

■ 業務改善を経験した職員

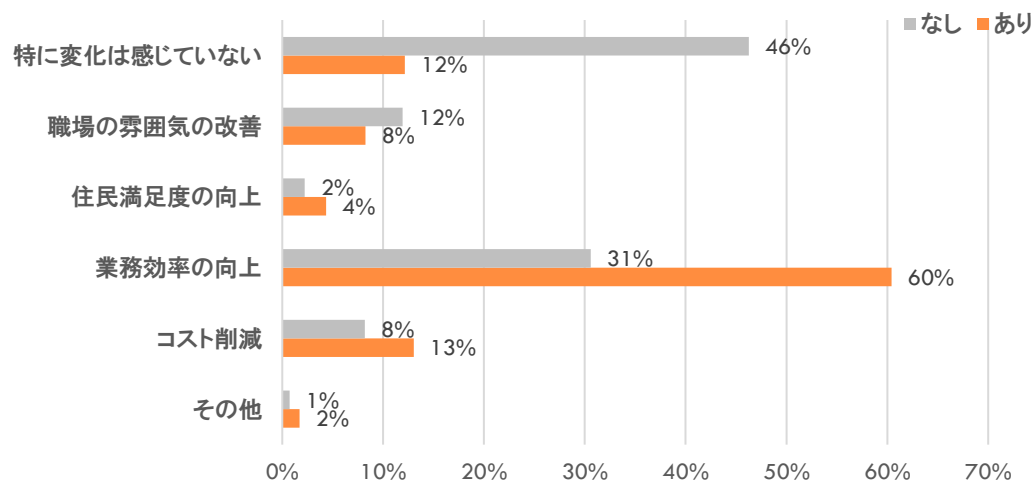
- ・ 令和6年度のBPR取組数は目標を上回り、目標に対して12業務を積み上げました。
- ・ 昨年度48%の職員が**改善経験がないと回答**していましたが、今年度はその割合を**40%に減少**させることができ、BPRの裾野が徐々に広がっていることがわかります。
- ・ 一方で、前述のBPR推進で実感する効果に関して、改善経験の有無で比較してみた結果、**改善経験のない職員の46%が「特に変化を感じていない」と回答**しており、改善を経験しないとBPRの効果を実感しづらいことがわかります。

▶ 業務改善を経験した職員



■ R6初めて改善実施 ■ R6以前に改善実施 ■ 改善経験なし

▶ 業務改善経験の有無と実感する効果



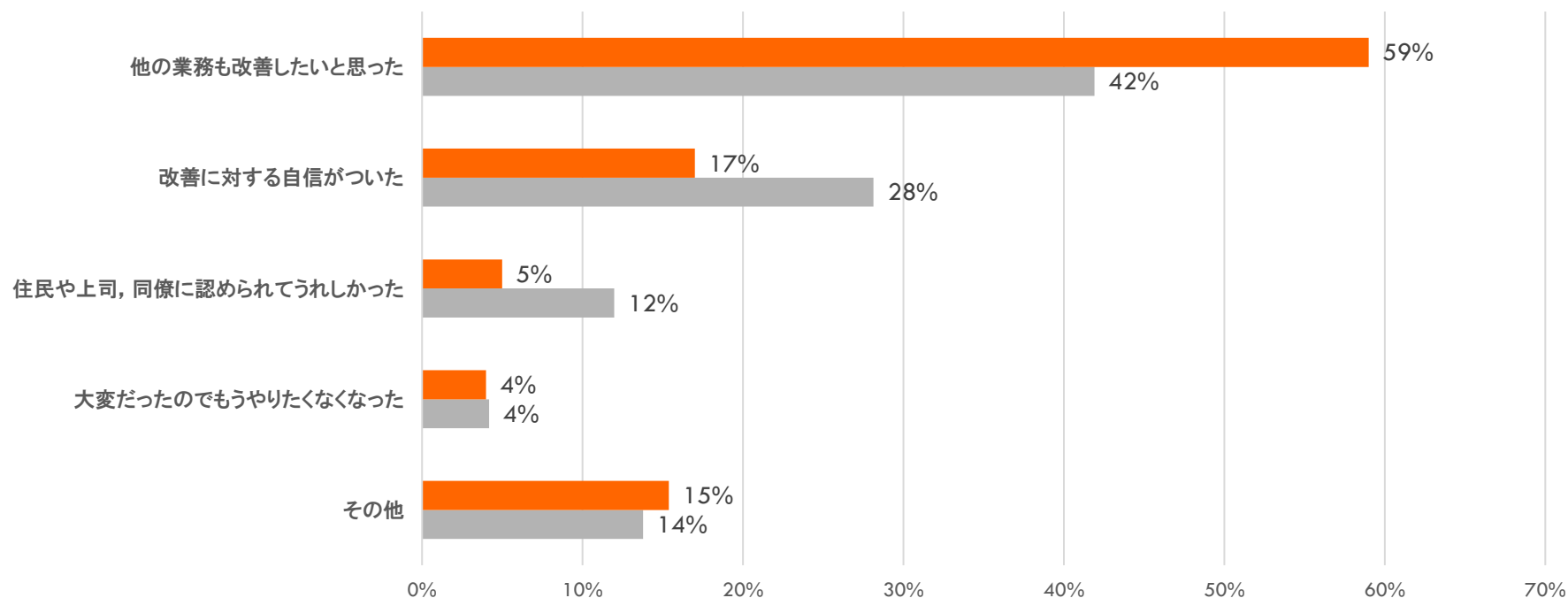
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

■改善経験後の意識の変化

- ・令和6年度に業務改善に取り組んだ職員のうち、59%が「他の業務も改善したい」と回答し、さらなる業務改善に意欲を示していることがわかります。
- ・この結果から、今年度の取組みによってBPRに前向きに取り組もうとする職員が着実に増加していることがわかります。

▶令和6年度BPR取組実績



3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

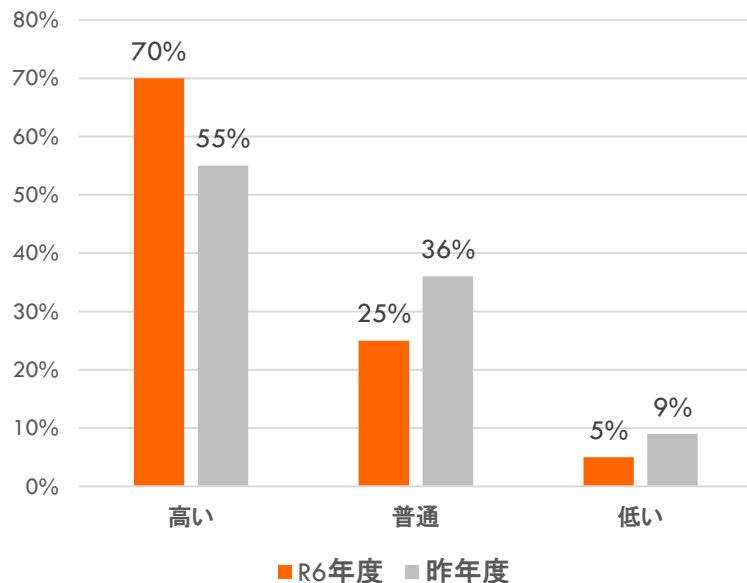
■ マネジメント層のBPRに対する意識

- ・昨年度と比較し、マネジメント層におけるBPRの意識が大きく上昇し、**70%の職員がBPRに対して高い意識**を持っていることがわかります。

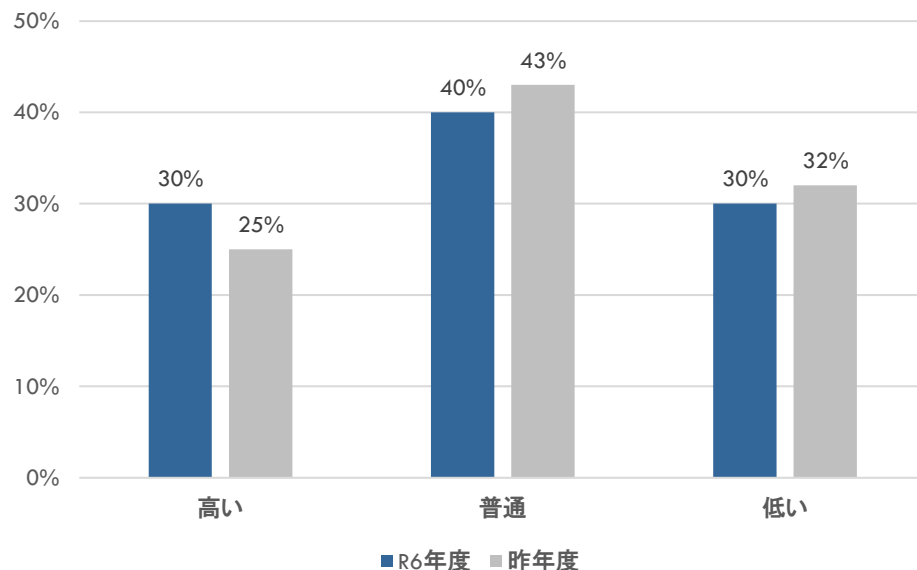
■ 非マネジメント層のBPRに対する意識

- ・昨年度と比較し、昨年度よりもBPRに対して高い意識を持っている職員が増加していることがわかりました。

▶ マネジメント層のBPRに対する意識



▶ 非マネジメント層のBPRに対する意識



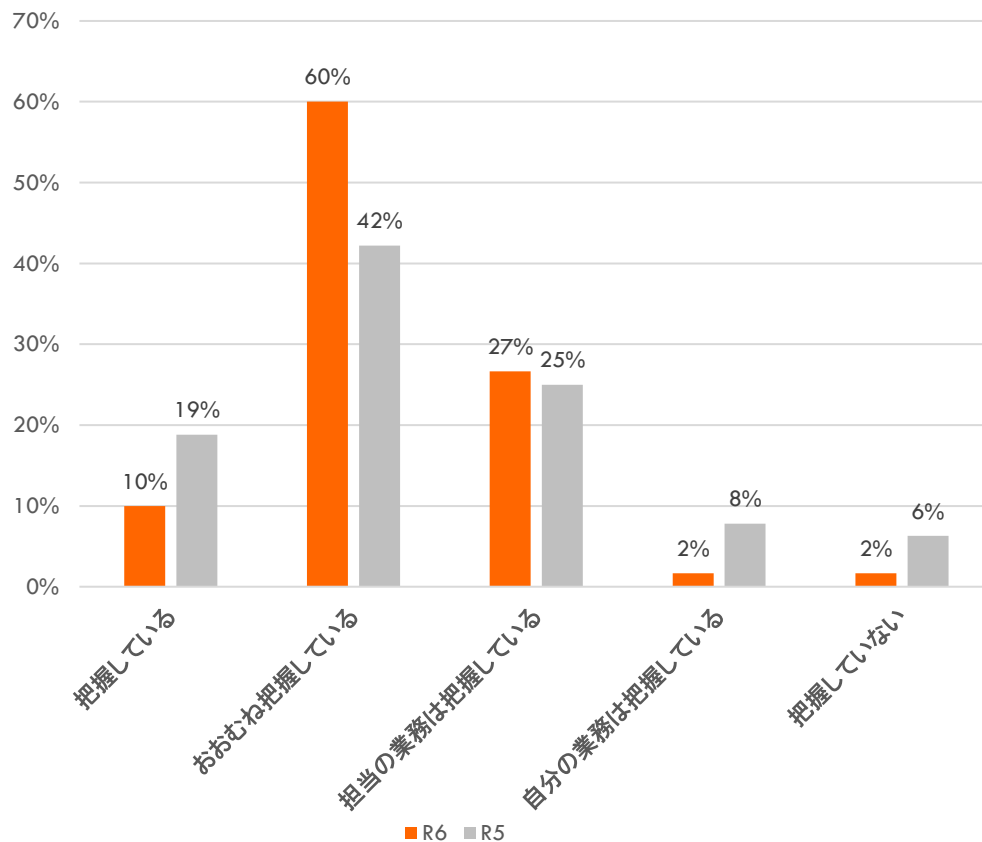
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

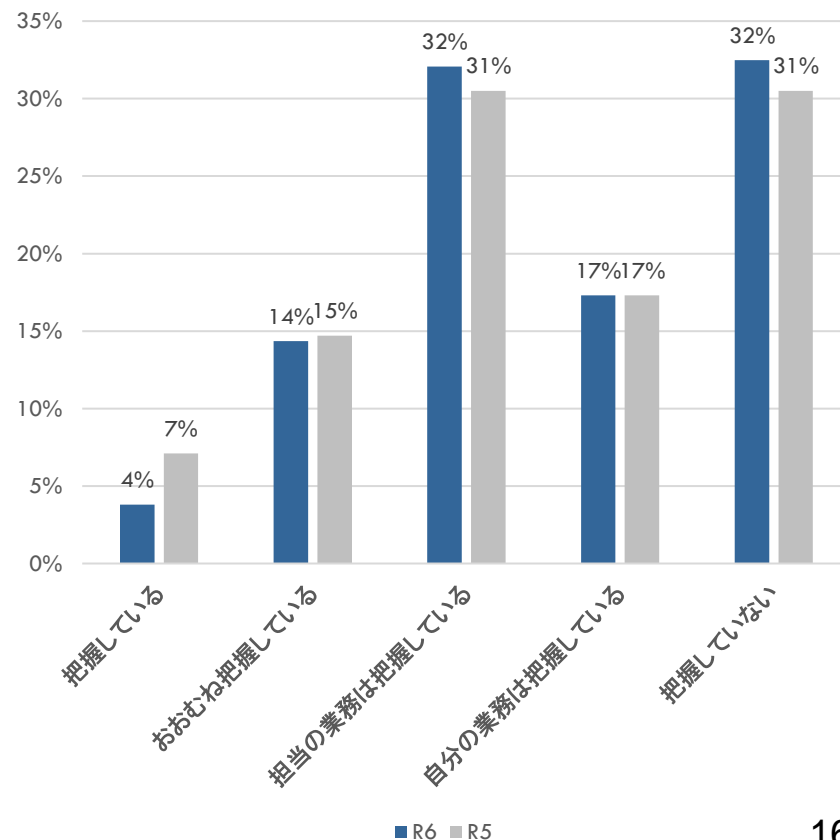
■ BPRの把握状況

- ・ 職場内のBPRの把握状況について、昨年度と比較し、マネジメント層では大きく数値が増加した一方、非マネジメント層ではあまり変化は見られませんでした。

▶ マネジメント層のBPR把握状況



▶ 非マネジメント層のBPR把握状況



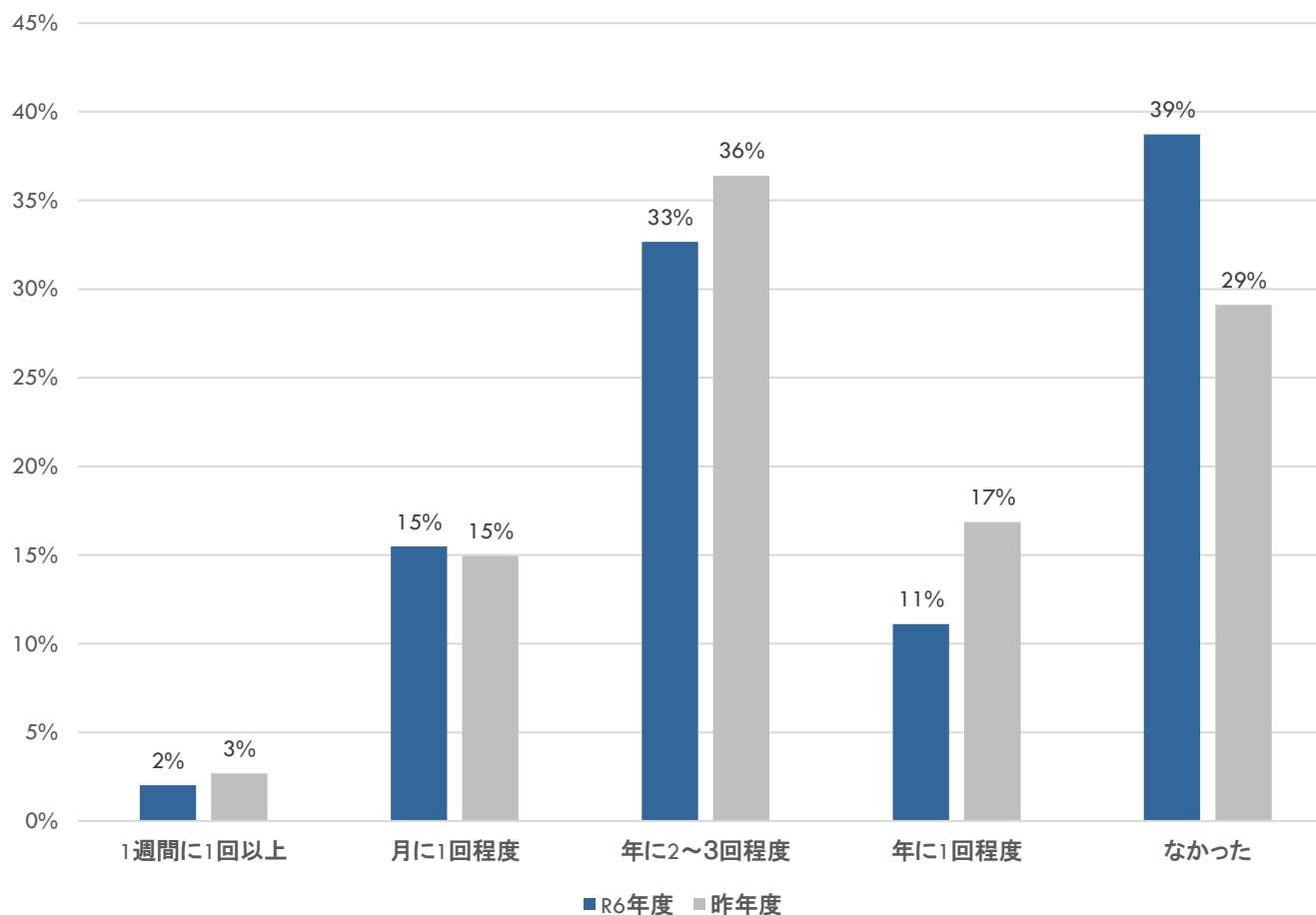
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

■ DX責任者, DX推進員からの声かけ頻度

- ・昨年度と比較し, 声かけの頻度は全体的に下がっている傾向が見られます。
特に**声かけが全くなかったと回答**した職員は**全体の約4割**を占めている状況です。

▶ DX責任者, DX推進員からの声かけ頻度 (昨年度比較)



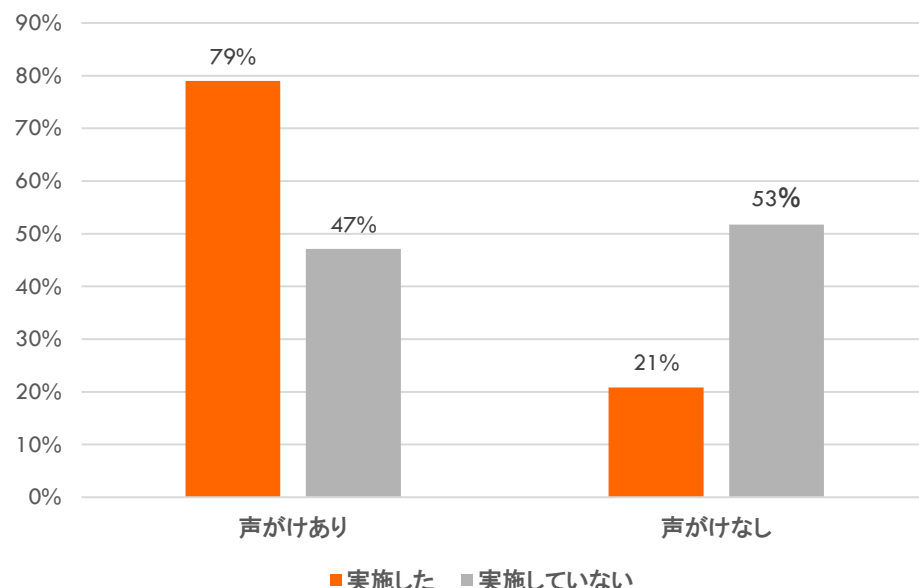
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

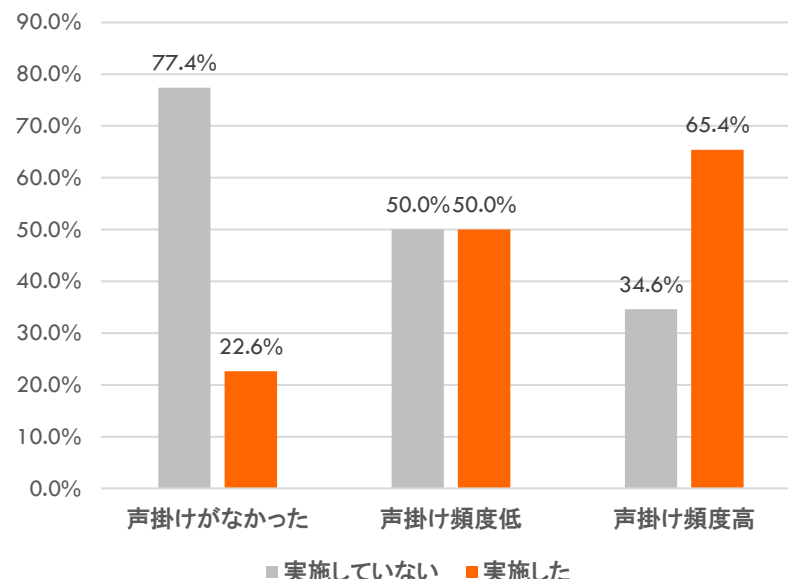
■ 声がけと改善実施の関係性

- ・ 令和6年度に改善を実施した職員の79%がDX責任者・DX推進者からの声がけがあったと回答しています。
- ・ さらに声がけの頻度が増えるほど、改善を実施する職員の割合が増加することがわかりました。
- ・ このことからDX責任者・DX推進者からの声がけが、職員の改善実施の有無に大きく影響を及ぼしていることがわかります。

▶ 声がけと改善実施の関係性



▶ 声がけの頻度による改善実施の違い



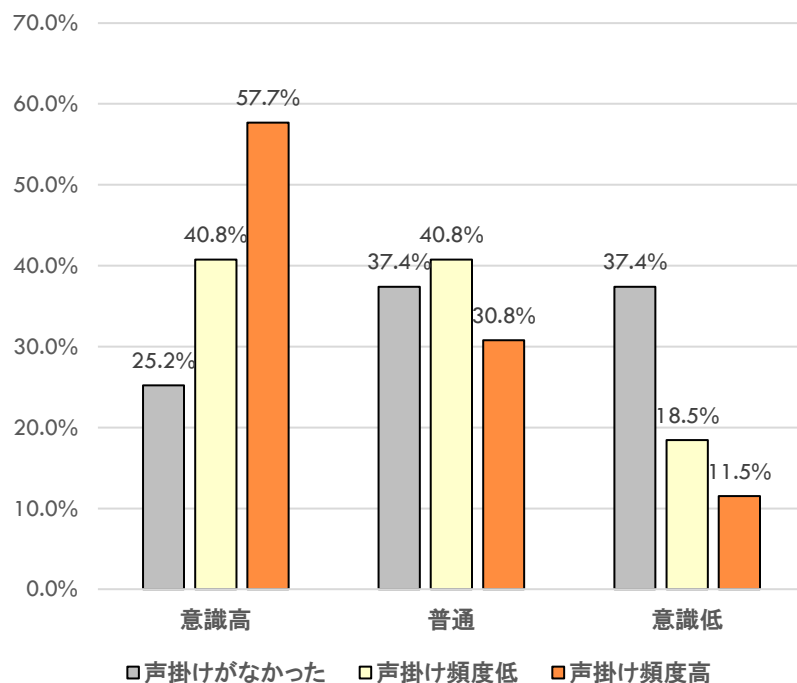
3. 職員の意識変化と施策の有効性

(1) 職員の意識変化

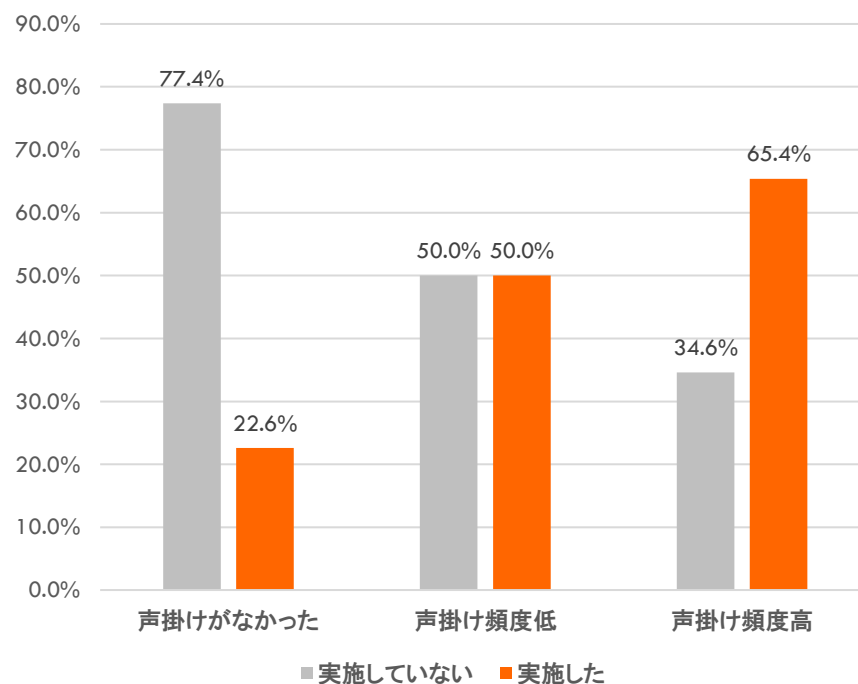
■ 声かけとBPR意識の関係性

- ・ 前述した声かけの頻度と改善実施率の関係と同様に，声かけの頻度が高いほど，改善意識は高まることがわかりました。
- ・ 以上を踏まえ，マネジメント層から声かけといった働きかけによって，非マネジメント層のBPR意識は向上し，改善実行へとつながっていくことが推測されます。

▶ 声かけの頻度によるBPR意識の違い



▶ 声かけの頻度による改善実施の違い



3. 職員の意識変化と施策の有効性

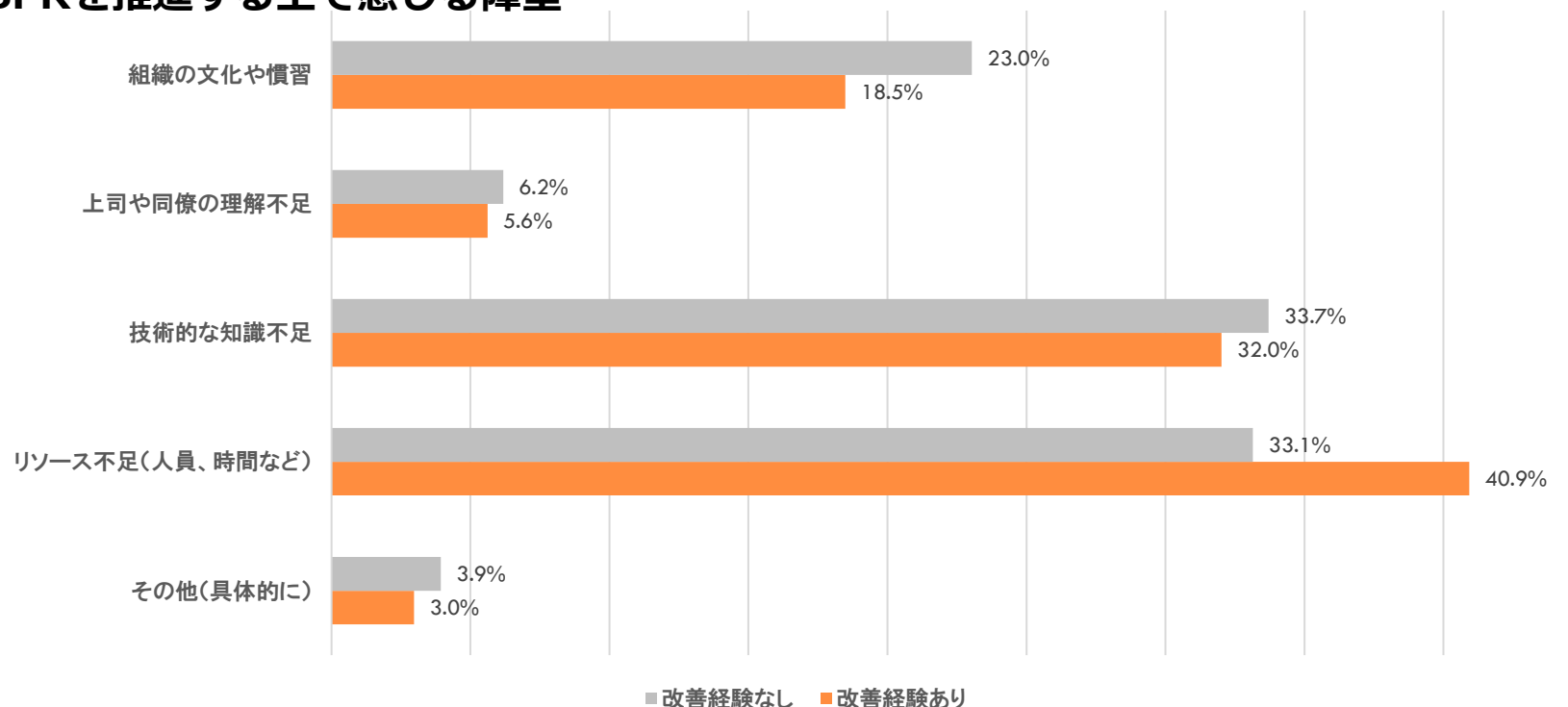
(1) 職員の意識変化

■ BPR推進に有効な声かけ内容

- ・ 職員アンケートの結果、職員の多くがBPRを推進する上で障壁と感ずることは「リソース不足（人員、時間など）」、「技術的な知識不足」、「組織の文化や習慣」であると回答しています。
- ・ 前述のとおり、マネジメント層からの声かけが職員の意識向上や改善実行に有効であることから、職場内で話すきっかけづくりをする、マネジメントの姿勢を示すといった声かけが有効と予想されます。

（働きかけ(例) リソース不足 ▶ 職場内で忙しい理由を話し合うきっかけづくり
 組織の文化や習慣 ▶ 新しい改善や挑戦を歓迎している旨を声かけ

▶ BPRを推進する上で感じる障壁



3. 職員の意識変化と施策の有効性

(2) BPR推進施策の有効性

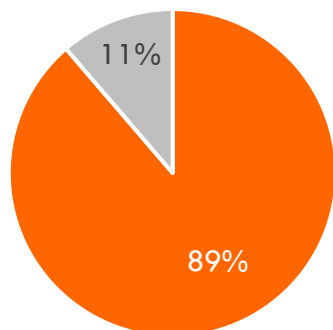
■相談支援・スキルアップ支援の有効性

- ・職員アンケートの結果から、相談支援のうち、なんでも相談室に参加した職員の実に89%が改善が進んだと回答しています。
さらにスキルアップ支援のうち、ITツール体験会参加者については全体の97%が体験会に参加したことで前向きな影響を受けたと回答しています。
- ・この結果は、相談支援・スキルアップ支援は職員の改善実行をサポートするとともに、職員の改善意識向上に貢献していることが推測されます。

▶BPR推進施策 実績

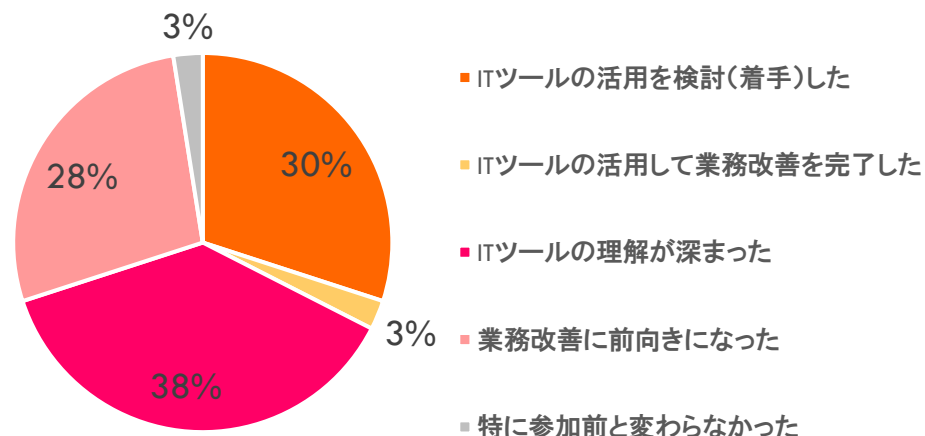
	なんでも相談室 案件数	ITツール体験会 参加者数
令和6年度 実績	132 件	57 人

▶なんでも相談室参加者の改善前進率



■ 改善が進んだ ■ 改善は進んでいない

▶ITツール体験会参加後の変化



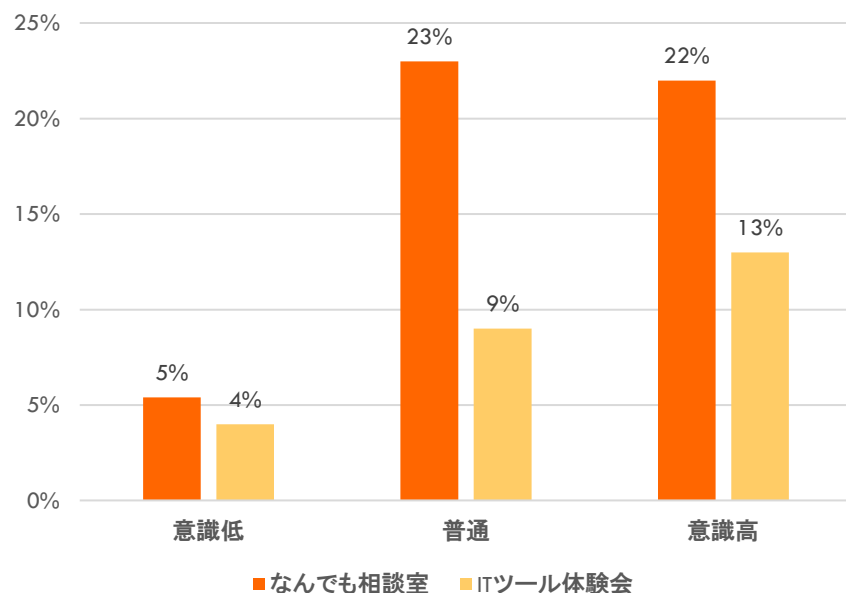
- ITツールの活用を検討(着手)した
- ITツールの活用して業務改善を完了した
- ITツールの理解が深まった
- 業務改善に前向きになった
- 特に参加前と変わらなかった

(2) BPR推進施策の有効性

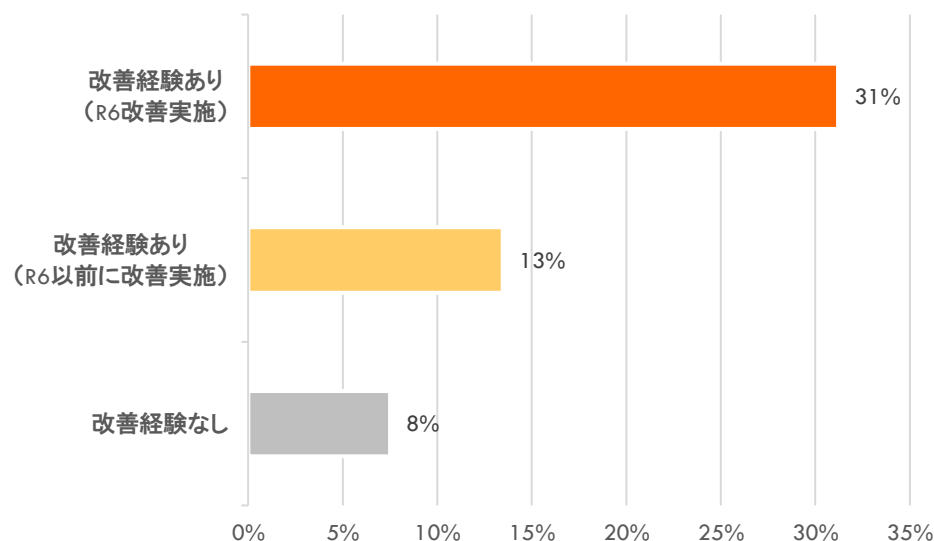
■ BPR推進施策利用者の傾向

- ・ BPR推進施策の参加率についてはBPR意識が高ければ高いほど高く、同様に改善経験を積んでいる職員ほど高い傾向にありました。
- ・ これらの結果は、BPR意識の高い職員、改善経験を有している職員ほど、BPR推進施策の有効性を認識し、利用していることがわかります。
- ・ 一方で、BPR意識が低い職員、改善を経験していない職員については、BPR推進施策は利用率は低い状況であることがわかります。

▶ BPR意識とBPR推進施策の参加率



▶ 改善経験の有無とBPR推進施策の参加率



4. 最終報告まとめ

今年度の実績と職員アンケートの結果から、以下のようにBPRに取り組むことが業務効率化の向上と改善意識の向上とにつながっていくことが示唆されました。

■実績

- ・業務量削減時間 6295.7時間/年, うちDX専門員による支援実績 2574.0時間/年
- ・各課主体でのBPRによる対象業務の業務削減率 23%
- DX専門員支援による対象業務の業務削減率 30%

▶ 大幅な業務量削減につながった大きな要因として、専門知識を有するDX専門員をBPR推進部署に配置し、各部署のBPR対象業務を効果的に業務最適化しているためと推測される。

- ・全BPR取組数に対するDX専門員が関与した割合 昨年度51% ⇒ R6年度34%
- ・相談支援件数 203件

▶ 各職場でのBPRの主体的な実施（BPRの自走化）が進んでいる大きな要因は、相談支援の窓口を設置し、職員をサポートすることで各課のBPR実行を後押ししていると考えられる。

■職員の意識変化と施策の有効性

- ・改善経験者の増加（改善未経験者：昨年度48% ⇒ R6年度40%）
- ・改善経験者の75%がBPRの効果を実感、改善経験者の68%がさらなる改善に意欲
- ・相談支援は改善経験者やBPRに対する意識が高い職員ほど活用
- ・非マネジメント層のBPRに対する意識は昨年度に比べて向上

▶ 非マネジメント層のBPR意識が向上した要因としては、改善を経験したことでBPRの効果を実感し、成功体験を得たことが大きな要因であり、改善を経験する機会をつくることが重要と考える。

- ・声がけの状況は昨年度より悪化（声がけが全くないとの回答 昨年度29% ⇒ R6年度39%）
- ・DX責任者、DX推進者からの声がけ頻度が高まることで、職員のBPR意識、改善実行率が向上

▶ 職員がBPRを意識し、行動する上ではマネジメント層からの働きかけは非常に有効であり、改善機会の創出や助言等の働きかけによって組織へのBPR浸透が一層加速するものと期待される。

組織全体にBPRが浸透し、職員がBPRを意識して行動できる状態を実現するため、次年度は以下の取組みに注力していく。

①BPR実行計画値の継続した積み上げ

これまでに年々業務削減時間を増加させてきました。継続したBPRの取組みで、改善しやすいBPRは年々減っていき、年を重ねるごとに業務削減時間の積み上げが難しくなっていきます。

このため、職場主体のBPRの掘り起こしを継続しつつ、改善難易度が高いが効果の高い業務（業務負荷の大きい業務、改善に数年間を要する業務）が改善可能かを検証し、改善を積み上げていきます。

②職員の意識向上のための取組み

今年度はBPRの裾野を広げる取組みを行い、BPR意識の向上をはじめ職員意識の向上につなげてきました。このため、次年度も引き続きなんでも相談室等のBPR推進施策を実施し、さらなるBPRの裾野を広げていきます。

③マネジメント層からの働きがけ

マネジメント層からの働きがけが職員意識の向上や改善実行に大きな影響を及ぼすことが分かった一方で、組織全体として、声かけ等の働きがけについては改善の余地があります。このため、働きがけの有効性を組織全体で共有するとともに、さらなる働きがけの効果や有効性を検証し、組織全体のより一層のBPR推進に取り組んでいきます。

④アナログ規制見直しへの取組み

BPRとデジタル化の妨げとなる規制の見直しを平行して取り組むことで、さらなる業務効率化、住民サービスの向上が期待できます。このため、アナログ規制見直しとBPRとによる相乗効果を生み出せるよう、同時並行で取組みを進めていきます。

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各課												
①新年度業務情報の更新 業務移管、担当者異動反映												
②BPR業務情報の更新 業務の追加、変更、削除												
③BPR実行計画作成 説明会												
BPR相談会												
課内での改善検討												
実行計画入力												
④BPR改善の実行 改善の実行												
実行後の業務情報更新												
⑤各種研修 BPR研修会												
ツール研修会												
マネジメント												
①BPR実行管理 説明会												
進捗管理												
アンケート実施												
報告				★計画値策定			★中間報告					★最終報告
②各課BPR支援 BPR相談会												
スキルアップ・相談支援			★AI-OCR、kintone、電子申請など随時実施予定									